

心の輪13R



『娘のふるさと』という資料を通して、
「ふるさと」について考えを深めました！



今は「ふるさとだ」という感覚はないけど、どこかへ引っ越しをしたり、長年住んだりしていると、「ここがふるさとだ」という実感が湧くのかなと思った。

『ふるさと』とは、自分にとって幸せな場所。ふるさとは、大切なものがあるからこそ『ふるさと』と言えると思います。

ふるさととは、日々を幸せに過ごすことができ、たくさんの人々と関わって過ごした場所。幸せな時間を過ごして、たくさんの人とコミュニケーションをとっていくことで、ふるさとをつくっていくことができる。

『ふるさと』とは、長い年月をかけて「楽しい」を思い出にして、その土地について知っていくことでつくられていくものだと思う。

ふるさととは、一番楽しくて、思い出がたくさん詰まっている所だと思います。なので、自分のふるすとは、一番長くいた場所だと思います。

自分のふるすとは幕山で、自分のふるすとは一生幕山になる。生まれた地域は違うけど、ふるすとは温かくて、自分が「また帰りた」という場所だと思う。ふるすを思う気持ちは大切だと分かりました。

ふるすとは、仲の良い友達がいる、自分が幸せだと感じられる場所だと思う。自分が楽しめることが出来たらいいと思った。ふるすとは、人と関わっていくことによって幸せを感じられるから、周囲の人と関わることで、ふるすとはつくられると思った。



私のふるさと

毎日暮らしていると、そこにあるものが当たり前のように感じ、地域の良さを実感することは難しい。
しかし、改めて見つめ直してみると、自然、産業、伝統や文化、街並みやそこに暮らす人の思いなど、地域にはたくさんの魅力がある。

文部科学省資料
『私たちの道徳』P.201 より引用

message

メッセージ

帰る度、「変わってないねえ。」とうそぶいて、
変わっていたら、淋しくせに。

31歳・女性

早く出ていきたい。一人で生きて、そして、
いつか必ず帰ってくるんだ。

17歳・女性

何もない そう思ってた あの場所に
全てがあったと 知る今日この頃

17歳・男性

ふる里よ、ぼくは、君のことは、わからないけど、
君は、ぼくのことわかってるみたい。

13歳・男性

このままでいい このままがいい それだけでいい
私のふるさと

49歳・女性